

城東区社会福祉

発行所
社会福祉法人
大阪府城東区社会福祉協議会
発行人
駒井信義
編集人
田豊
大阪府城東区中央3丁目4番29号
城東区役所内
電話 (932) 1351

題字は駒井区会長

創刊にあたって

みなさまとともに

住民福祉の向上を

社会福祉
大阪府城東区社会福祉協議会

会長 駒井信義



城東区社会福祉協議会は区内各種団体が相寄り住民の福祉について、種々協議する機関でありまして、過去二十五年間の長期に亘り住民福祉の向上に努めてまいりました。特に役員の方々も、常に献身的に活動して、奉仕の成果を収めてきたので

「社協」の認可があり、私たちが今後一層充実した社会福祉活動を推進して行かねばならないことを痛感しております。

(1) 児童の健全な社会環境づくり運動
(2) 明るい老後づくり運動
(3) 障害児、障害者の生活と福祉を高める運動
(4) 住民の健康と福祉を高める運動
(5) 住みよい生活環境づくり運動



法人社協としてますます発展を

城東区長 辻本博

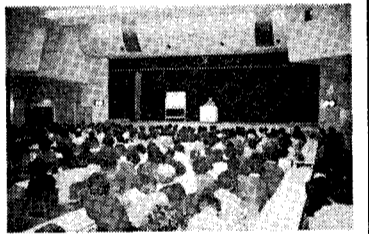
このたび「城東区社会福祉協議会」が発刊され、心から歓迎を申し上げます。最近の社会情勢は、住民生活に大きな影響をもたらしている。国や自治体も厳しい財政下にあります。当区では、社会福祉協議会が、地域の発展のために、活発な活動を展開されており、誠に

心強い限りであります。昭和二十六年当区社協が設立され、以来、社会福祉を目的とする事業について、連絡、調整、調査等を行い、住民生活の改善向上に努め、健康づくり、青少年の健全育成、敬老運動、その他町を明るくする運動等々に、幾多の成果を収められ、一方財源確保に、共募金、一円玉募金(硬貨募金)運動、また、善意銀

区民ホールで

コミュニティ

区民の皆さんから久しく待ち望まれていた城東区民ホールが今年二月十七日に完成し、オープンしました。場所は城東区中央一丁目三番六号で、冷暖房完備のホールと二つの会議室があります。これまで多くの人々が利用されてきましたが、立派な照明装置のついた舞台のあるホールでは、民謡や舞踊、ピアノの発表会などが催されています。またホールは軽スポーツにも利用できますので、職場や青少年の卓球大会や剣道の練習に活用されています。



この区民ホールは、コミュニティづくりを目的として、区内各種団体が集まって設立された財団法人城東区コミュニティ協会が運営しています。

これまで、大きな集会施設のなかった城東区で、この区民ホールを中心として、区民の福祉向上と文化振興を通じ、あたたかい心のかよう町づくりが一層展開することが広く期待されています。

区社協の組織

城東区社会福祉協議会(以下区社協という)の組織について、概要を述べると区社協の定款には、理事一五名、監事二名、評議員四〇名と規定されている。理事は、理事会を組織して区社協の業務を決定する、所謂執行機関である。監事は、業務執行の状況なり財産状況を監査することになっており、評議員は、評議員会を組織し、予算、事業計画等重要案件の議決機関である。

理事の構成は、会長一名、副会長三名、常務理事一名、会計理事一名、理事九名となっている。会長、副会長、常務理事、会計理事は、理事の中から選任され、理事、監事は、評議員会で選任されることになり、評議員は社会福祉団体、学識経験者等から選任されることになっており、任期はそれぞれ二年である。

みんなそろって城東まつりへ



ともすれば人間疎外に陥ちやすい都会に、うるおいのある、あたたかい心のかよひあう地域社会の育成と、区民の連帯意識の高揚の一助として「城東まつり」を開催します。

このまつりは、分区分区四回目を数え、年々参加者も増えつづけ、夏の楽しい行事の一つとして欠かすことが出来ないものとなりました。

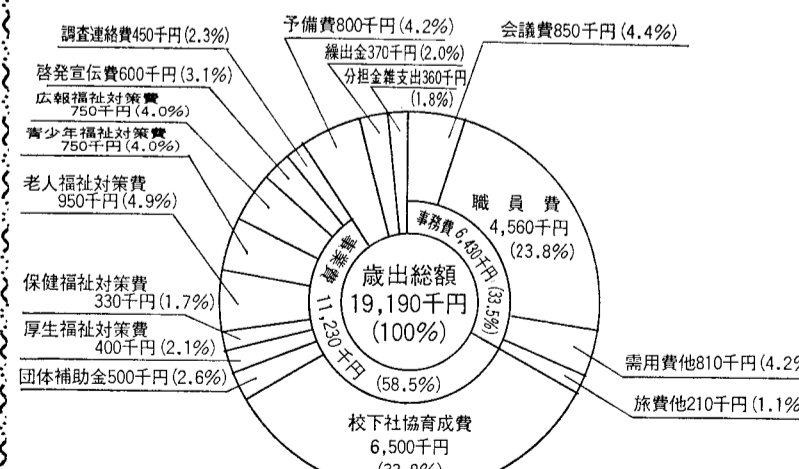
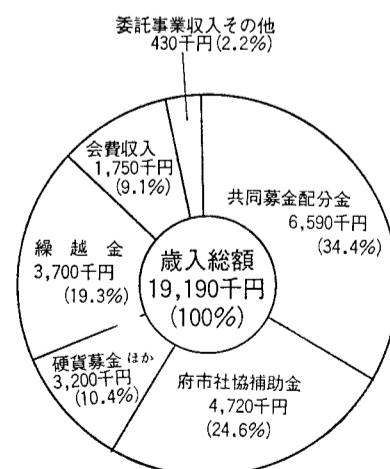
今年、八月二十五日(木)二十六日(金)の二日間に行われ、城東区コミュニティ協会と城東まつり実行委員会の共催で開催されます。二十五日は、前夜祭として区民ホールで素人演芸大会を二時〜六時まで催し、二十六日の本祭は、蒲生公園で夕方から民謡をはじめ、たそがれコンサート等々数多くの催しが企画されています。

詳しい案内は、市政だより、回覧板でお知らせいたします。

昭和五十二年度 区社協予算成立する

昭和五十二年三月三十一日、城東区役所で理事会を開き、引き続き評議員会を開

催、昭和五十二年区社協の事業計画案と予算案をそれぞれに審議し決定した。昭和五十二年度予算を円で示すと左記のとおりである。



会員入会申込

区社協は昨年厚生省より社会福祉法人の認可がおりたのを機会に、今後一層充実した社会福祉活動を推進してゆきたいと考えております。皆さまの深いご理解とご協力をお願いいたします。

なお区社協へ会員として入会の申し込み、社協事務

老人介護実態調査

全国社会福祉協議会主体で五月一日、全国一斉に老人介護の実態調査(六五歳以上、六ヶ月以上就床にある老人対象)が実施された。

善意銀行だより

昭和四十七年善意銀行開設時より多くの金銭預託を頂き区内の福祉に役立てさせて頂いております。皆様の尊い善意に深く感謝申し上げます。なお、昨年九月社会福祉法人設立後一百万円以上の預託者は次の方々です。

- 喫茶レイク様 一六、三八八円
 - 竹内 新次様 二〇〇、〇〇〇円
 - 清風寺旭別院婦人会様 二〇、〇〇〇円
 - 山口 満子様 三〇、〇〇〇円
 - 関 卓吉様 二〇〇、〇〇〇円
 - 前川以知郎様 五〇、〇〇〇円
 - 大島 進様 一〇〇、〇〇〇円
 - 岡 恭子様 五〇、〇〇〇円
 - 巽 利夫様 二〇、〇〇〇円
 - 匿名様 一九〇、〇〇〇円
- なお、当銀行には開設当初は旭区在住の西様名で、現在は全く匿名の形で、四十七年から今日に至るまで十数回にわたり、合計五十数万円の預託を頂いております。住所、氏名を調べましたがわからず、この機会紙発行にあたり、紙上においてご報告し、心から感謝申し上げる次第です。
- また、皆様からの預金の払出し先として、今回は生活保護家庭の小・中学生の子供さんに運動靴を贈らせて頂きました。今後とも皆様方のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

